



ロシアNIS経済速報

一般社団法人 ROTOBO

2026年(令和8年)10月5日号 No.2036

目次

■ 2026年上半期のロシア港湾の貨物量	1
■ エトセトラ	8
セミナー「ロシアにおける会社維持と財務・資産管理、駐在員の諸問題」開催のご案内／8	
■ トピックス	8
イズミ物流、ウズベキスタンで合弁物流事業を開始／8	
Jマテ、銅プロダクト、モンゴル製純銅粉を日本独占販売／8	
ロシア、製油所等の情報拡散を制限／8	
EU、ロシア関係者らに追加制裁／9	
日・モンゴル首脳会談、空港拡張支援やエネルギー協力で一致／9	
ロシア、ディーゼル燃料輸出禁止を延長／9	
豪、対ロ制裁対象を追加／9	
五常、ウズベキスタンRenesansの持分を追加取得／9	
英国、対ロ制裁対象を追加／10	
DENZAI、カザフスタンに子会社を設立／10	
成田・アルマトイ間直行便が11月末に就航／10	
日本政府、対ロ制裁を追加／10	

2026年上半期のロシア港湾の貨物量

解説

ロシア港湾の取扱貨物量の2026年上半期の実績を入手したので、本号では、早速このデータを図表にまとめてお届けする。

2026年上半期のロシア港湾の取扱貨物量は、4億5,145万tで、前年同期比5.8%増となった。このうち、ドライカーゴは2億2,432万tで9.1%増、液体カーゴは2億2,713万tで2.8%増と、いずれも増加している。取扱貨物量は2024年に軍事侵攻開始後初めて前年を下回り、2025年は前年並みにとどまっていたところ、増加に転じたことになる。

ドライカーゴでは、穀物が前年同時期より60.9%増の2,679万t、鉱石が同20.5%増の821万tとなり、石炭・コークスが同9.9%増、コンテナ貨物が3.7%増、などとなった。

一方、対前年比で減少したドライカーゴの品目は、鉄鋼が対前年同期比9.5%減で1,087万t、非鉄金属が同9.6%減で137万tなどとなった。ロシア国内の、軍事関連分野以外の製造業の不振が反映された模様だ。また木材は同17.1%減となり、減少に歯止めがかからない状況が続いている。